

3学年だより

NO 591

飛翔

令和3年2月17日



小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

最大の学校行事…卒業式への心の準備！

15日（月）から17日（水）の3日間で、公立高校の学力検査・特色検査・面接が実施されました。2日間で全て終わった生徒もいれば、今日、面接に向かっている生徒もいます。すべての生徒が最後まで自分の力を出し切って頑張してほしいと思います。

明日は、公立高校の選抜が終わり、全員が登校します。そして、いよいよ、最大の行事である卒業式への取り組みが始まります。卒業式は、学校において、もっとも大切な儀式です。学校には、いくつかの儀式がありますが、卒業式は3年生の巣立ちをお祝いし、お別れをする儀式です。

人は生きていく中で、置かれている立場や生きていく環境が大きく変化したり、自分自身の歩む道、そのものを大きく変えたりしなければならない時があります。その境目に心のけじめをつけるために行われるのが儀式です。ですから、儀式の前と後では自分の心の中に新たな決意が生まれたり、新しい空気を感じたりして、自分自身が大きく変化します。

卒業式は、今まで義務教育の中で、保護者の方や先生方、地域の人から見守られながら、みんな同じ道を歩んで学んできた環境から、自分自身の足で、自分の意思をしっかりとって、それぞれが選択した道を歩いていく出発式でもあり、みんなとのお別れの式でもあります。

ですから、卒業式は、巣立っていくみんなを祝福する人と巣立って別れていくみんなの感謝の気持ちがあふれた式となります。祝福の拍手とお別れの涙と感謝が一つになった空気が式場を包みます。

9年間にわたる義務教育が終わります。この卒業式の式場に立つみんなは、誰に感謝しますか。いや、どれほど感謝の気持ちを膨らませて式場に入りますか？式場にはみんなを祝福する人しかいません。みんなの式に立ち会っていただけた人にどのようにお礼をしますか？卒業までのわずかに残された時間で、考えてみてください。

毎年、3年生は、感謝の気持ちを、学年という集団として、そして個人として、しっかりあらわして立派に卒業していきます。人が人に感謝を誠実にしっかり伝える姿が立派なわけです。

保護者の方にはもちろんの事、一緒に生活をしてきた友達、保育園、幼稚園、小学校の先生方、あなたに直接わからないとことで、支えてくれた地域の人などの心遣いまで感じて感謝できたら素晴らしいと思います。感謝ということを立ち止まって真剣に考えてみてください。なぜなら、卒業式という儀式に立つのだから。